

令和元年 10 月 1 日

令和元年度学校関係者評価報告書

I. 平成 30 年度重点目標について

1. 重点目標

〈日本人〉入学者数の増加
〈留学生〉入学者数の装荷、質の向上
〈退学者〉減少させる
〈就職〉就職率 100%。

[評価] 3

重点目標の各項目について、取り組み、一定の成果を得ている。

[今後の改善策]

就職に直結したカリキュラム編成をしていく。
インターシップの充実を図る。
学生満足度の向上を図る。
日本人増加のため、改革を進めていく。

II. 各評価項目について

1. 教育理念

[評価] 3

教育理念実現するため取り組んでいるが、留学生の増加、日本人の減少など、対応すべき課題は多い。

[今後の改善策]

カリキュラムの改革。
インターシップを充実させていく。
ボランティア活動の奨励により、社会貢献のできる人材を育成する。

2. 学校運営

[評価] 3

留学生は増加が続いている。日本語能力は入試競争率が 3 倍を超え、向上がみられる。日本人学生数は減少した。

中途退学は、留学生、日本人ともに減少している。

[今後の改善策]

留学生が多く、日本人と留学背が一緒に学ぶことのメリットを PR し、本校の強みとしていく。

人間性重視の教育を徹底し、社会に通用する人材を育成する。

3. 教育活動

[評価] 3

カリキュラム改革、授業運営改革を進め、一定の成果を得ている。

[今後の改善策]

学生管理の徹底。担任、ホームルーム、面談等、問題点の早期発見、対応により、中途退学を防ぐ。

就職に直結したカリキュラム編成が必要。

4. 学修成果

[評価] 3

就職については、日本人は 100%で、留学生は 96%と向上した。

ボランティア活動については、浅草消防署から学生が表彰された。

[今後の改善策]

留学生の就職に関しては向上が見られるが、日本語能力が重要である。インターシップの充実により、就職につ上げていく。

積極的にボランティア活動を支援し、奨励していく。

5. 学生支援

[評価] 3

就職支援は就職課を中心に行っている。

中途退学防止には、出席不良者を毎週発表し、担任と教務が連携して対応している。

学生相談は、専門のカウンセラーは設置していないが、職員全員で対応している。

[今後の改善策]

担任、ホームルーム、面談等により、問題点を早期発見し、職員が連携して、対応していく。

6. 教育環境

[評価] 3

教室照明器具の LED への交換を進めている。

6, 7, 8 階のブラインドをロールカーテンに交換した。

大型テレビ、ブルーレイプレイヤーセットを 1 セット購入し、全教室で使用できるようになった。

4, 5 階のエアコンを交換した。また、職員により、教室の美化を実施した。

[今後の改善策]

計画的整備が必要。

7. 学生の募集と受け入れ

[評価] 3

日本人学生は大幅に減少し、留学生は昨年に続き増加した。

日本人募集状況の打開が急務である。

[今後の改善策]

日本人については、他校との差別化を明確にし、根本的改革が必要である。

8. 財 務

[評価] 3

留学生の増加により、学生総数は維持され、運営の合理化により、財務状況はさらに改善した。

[今後の改善策]

医療・医薬学科を来年度廃学科となり、より効率的な学校運営を行っていく。

9. 法令等の遵守

[評価] 3

関係法令の遵守は、最優先で行っている。

個人情報保護を適正に行っているが、情報漏洩対策は十分とは言えない。

自己点検自己評価も実施している。

[今後の改善策]

個人情報漏洩対策を徹底する必要がある。

自己点検自己評価の精度を向上させる必要がある。

10. 社会貢献・地域貢献

[評価] 3

浅草消防署と連携して、災害時支援ボランティアとして、留学生 22 人が登録し隅田川花火大会等行事に参加した。社会貢献・地域貢献は積極的に行っている。

国際交流については、多くの留学生を受け入れることにより、行っている。

[今後の改善策]

引き続き、浅草消防署や台東区と連携して行っていきたい。